

第 13 回 投資をするときの心がまえ

投資をするにあたって警戒すべきことが 2 つあります。

①損失

②サギや嘘情報

この 2 つを完全に避けることはできません。損失局面は必ずあるのと、サギや嘘は想像以上に多いからです。

なのでどうするべきかというと、

①損失

投資にはつきものだと認識し、限定することで最小限に抑える

②サギや嘘情報

正しい知識と情報力をつけ、念入りに調べる

ことです。原因とからめて具体的に説明します。

焦って始めない

何事においても焦りは禁物です。

「早く投資始めないと機会損失だ」

と考えずにまずは資金はあるか、負債はないか、節約して余剰金はつくれるか、などを把握しましょう。

「同僚がみんな始めてる」などで焦る人もいるかもしれませんが人は人、自分は自分です。見失ってはうまくいくものもうまくいきません。

焦った状態での判断は必ずババを引きます。

お金と投資の知識吸収、自身の状況把握、をまずはしっかりや
っていきましょう。

彼を知り己を知れば百戦あやうからず

古代中国、「孫子」にある言葉です。

焦って準備不足では正しい判断は下せません。

早くお金を増やしたい、という心はギャンブル思考の入り口と

知ってください。

少額の余剰金が捻出できるなら積立投資、自己投資をして経験やスキルを着実に積み上げることを始めましょう。

わからないものにお金を出すと失敗する

投資サギ被害者が減らない理由は、

“仕組みが分からないのに「儲かる」という誘い文句や証拠もない実績を信用する”

人が多いからです。

あれこれ特約のついた保険に入る人と同じです(自分で内容を説明できない保険はやめるべきです)。

“知らない人について行かない” 子供でもわかることです。

なのに大人は投資サギで驚くほどの人数が騙されて損をしています。

なぜなのか？主な理由は2つ、

- ・早くお金を増やしたい、欲しい、という気持ちにはつけ込まれるスキができる

- ・知識が圧倒的に足りてないため、すぐお金が増える魔法があると信じてる

からです。

投資は自己責任、人の意見や情報は参考までにとどめて判断は必ず自分でします。

それには自分を高めなくてはなりません。

これまでお伝えしてきたこと、あなたが実践していることによってより高めていきましょう。

デューデリジェンスが大事

契約書をしっかり読まない経営者はいません。

めんどくさい、と口々に読まずにサインすれば不利な条件にお

かれるからです。

投資先を徹底的に精査することをデューデリジェンスといい、投資判断のために必須です。

これを怠るのは契約書を口々に読まないのと同じです。

不利になる、つまり損をすることにつながります。

具体的に何をするか？

個別株なら企業分析を徹底的にやります。

「そりゃそうだろ」

と思うかもしれませんが、企業ホームページを見るとかのレベルではありません。くわしく書けば本一冊になりかねないことなので説明は省きますが多大な労力を費やします。

投資信託はそのプロセスをやってもらって選んでくれてる状態ですが、それでも目論見書などはしっかりと確認する必要があります。利回りしか見ず、手数料を見なければ自分の利益をみすみすファンド運営者に多く渡すことになります。

しかしどれだけ念入りに精査しても失敗するときはします。

投資に絶対はありません。人生もそうですね？

それでも大きなことは慎重に判断するはずです。

同じようなことなのです。

分散投資を広く考える

投資信託はたくさんの株の詰め合わせだからこれだけで分散投資になる、とよく言われてます。

今まさに始める初心者にはその説明でもいいでしょう。

しかし実際には投資信託ひとつでは分散投資とは言えません。

株式、債券、通貨、金などなど違った値動きをする資産にまで分散してこそ最大の効果を得られます。

もっと言えば持ち家も銀行預金も金融資産です。

金融資産だけでなく人的資産（自分で仕事をして得る収入）も含めて考えるべきです。

ポイントは

- ・金融資産は順相関で値動きしない組み合わせを考える(例：株式、債券、不動産など)
- ・日本と海外、安定資産と成長資産、などで分けてバランスを取る(例：人的資産が日本なら金融資産は海外、など)ことです。

全体像を見渡しての分散こそが正しい分散投資です。

投資を始めて少し慣れたら意識していくようにしましょう。

今回は、

- ・焦り、わからないのに手を出すことで損失やサギに合う
- ・念入りにデューデリジェンス(精査)して判断する
- ・資産全体を見て幅広い分散を心がける

ということをお伝えしてきました。

お金を

守る（知識と情報力）→稼ぐ（本業と副業）→増やす（投資）

をサイクルにしていくことが安定運用の基本です。

投資をする前にこれらの心がまえをしっかりと覚えておきましょう。

次回は、投資で失敗しないために知っておいて欲しい、心理や損失の限定などについてお伝えします。

森 ひろき